

## デジタルウォッチ 取扱説明書・保証書

取扱No. G-D45f

この度はクレファウォッチをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品を永く御愛用頂ける様に、この取扱説明書をよく読んで正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この保証書はお手元に保管して必要に応じてご覧ください。

- 製品や説明書の内容は改良などのため、予告なしに変わる事があります。
- この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は許可なく変更・複製しないでください。

## 保証書

<b>製品型番</b>
<b>お買い上げ日</b>
ふりがな
<b>お客様氏名</b>
<b>お客様住所</b>
<b>ご連絡先電話番号</b>
<b>販売店印</b>
※保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## 保証規定

保証書及び本保証規定に記載した内容によりこの時計を保証致します。

- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間中、正常なご使用状態において、万一故障が発生した場合は、本保証規定によりお買い上げの日より1年間無償で修理・調整させていただきます。本保証書と現品をお買い上げ店にご呈示ください。
- 保証期間中であっても、下記の場合には有償となりますのでご了承ください。
  - ① 誤ったご使用またはお取扱い上の不注意による故障。
  - ② 火災・水害・地震、その他の天災地変による故障。
  - ③ 分解による故障・不具合
  - ④ ご使用中に生じた外装・外観上の変化  
※ケース・ガラス・リュース・バンドのキズ、色落ちなど
  - ⑤ 保証書のご呈示がない場合、あるいは保証書にお買い上げ店名・捺印・お買い上げ年月日の記入が無いなど、記入事項に不備がある場合。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- 修理の時、ケース・文字盤・針・ガラス・リュース・バンドなど、パーツについては、一部代替部品を使用する場合がございますのでご了承ください。
- 時計本体以外のパーツ（ベルト・フックなど）は保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 最初に入っているモニター用電池、バンドの損耗、電池切れによる電池交換などは保証の対象外となります。お買上げ後、電池が切れた際には時計専門店・クレファアフターサービスなどに電池交換（有償）をご依頼ください。
- ご記入頂いたお客様の情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。
- この保証書により保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 製品仕様

- 受信電波 自動選局受信モデル（両局対応）  
40kHz（福島局）60kHz（佐賀局）
- 受信機能 1日3回（午前0時、午前4時、午後6時頃）  
手動受信可能
- クォーツ精度 平均月差±3.0秒以内
- 作動温度範囲 -10℃～50℃  
※電池寿命はご使用状況により異なります。  
※最初に入っている電池は工場出荷時に時計の機能を点検し性能を検査する為のモニター用電池です。この電池は、保証の対象外となります。  
全ての仕様は改良等の為予告なく変更になる場合があります。
- 機能
- 時刻 時・分・秒  
（12/24時間表示切り替え可能）
- カレンダー 年・月・日・曜日
- ストップウォッチ 最大計測時間：  
23時間59分59秒99
- アラーム ON/OFF設定可能
- 時報 ON/OFF設定可能
- カウントダウンタイマー 設定可能範囲：  
1分～23時間59分
- 第2時刻 通常時刻とは別にもう一つの時刻を設定可能  
（時差の設定が可能）
- 防水機能 「防水性」の項を必ずお読みください。
- ソーラー駆動とリチウム電池駆動自動切り替え

## 安全上の注意

- ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下の表示で区分されている内容につきましては、一読してご確認の上必ずお守りください。

**警告** この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「死にまたは重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

## 防水性

### 警告

■ 気圧の数値は、ケースの裏や文字盤に、下記のように表記されています。（記載がないものが、非防水の時計です。）

（例）・WR・BAR  
・WATER RESISTANT  
・WATER RESIST

- 防水性能にはバンドは含まれません。
- 非防水・日常生活防水（3～5気圧）の時計は、水中に入れてしまう様な環境での使用はできません。
- 日常生活用強化防水（10～20気圧）の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。
- 防水構造の時計でもシャワーや入浴等の温水では使用しないでください。

### 注意

- 水中あるいは水分がついたままでリュース及びボタン操作をしないでください。内部に水分が入り、防水不良・故障の原因となります。
- 非防水時計については一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にもご注意ください。水や汗で濡れた場合は乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- 防水構造の時計でも、勢いのある水道の水を直接あてる等の事は避けてください。防水性能以上の水圧がかかり、防水不良や故障の原因となる場合があります。
- 日常生活用強化防水時計（10～20気圧防水）の場合、海水に浸かった後は、ケースについて海水を真水で良く洗い落とし、洗った後はサビ等が出ないようによく拭き取り乾燥させてください。
- 時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部の湿気より低い時などにガラス面がかくもる事があります。くもりが一時的な場合は支障ありませんが、くもりが長時間消えなかったり、時計内部に水分が入っている場合は、そのまま放置せずにお買上げ店にご相談ください。

## 薬品について

### 警告

- 水銀・化学薬品（シンナー・ガソリン・各種溶剤・またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）・ガスなどが触れると、ケース・バンド・文字盤の変色、樹脂部品では変色・変形破損する場合がありますので、十分ご注意ください。

## 電池

### 警告

- お客様自身で電池交換をしないでください。万一、ご自分で交換した際の作業により生じた事故・故障・防水不良等は保証の対象外となります。
- 電池交換は必ず、お買上げ店または時計専門店に御用命ください。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取出した場合は、電池を直ちに幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 万一飲み込んだ場合は、体に害がある為、直ちに医師にご相談ください。
- 破裂・発熱・発火などのおそれがありますので、絶対にショート・分解・加熱・火に入れるなどしないでください。

### 注意

- この時計に使用している電池は充電式ではありません。無理に充電すると、液漏れや破損のおそれがあります。
- -10℃以下や+60℃以上の温度下に放置すると、液漏れしたり寿命が短くなる事がありますので、ご注意ください。
- 電池が切れた状態で時計を長期間放置すると、故障の原因にもなりますので、お早めの交換をおすすめ致します。

### 電池の消耗などについて

- 電池は自然放電によって少しずつ消耗していきます。
- 電池が切れた状態で時計を長時間放置すると、故障の原因にもなりますので早めの交換をおすすめいたします。
- 最初に入っている電池は、時計の機能や性能を検査・確認する為のモニター用電池です。この電池は、保証対象外となりますので、その場合の電池交換は有償となります。

## 衝撃・温度など

<b>衝撃</b>	<b>軽スポーツによる影響はありません。</b> ・床に落とす、ぶつかる等の激しいショックを与えないでください。ガラスが割れたり、故障の原因になります。
<b>振動</b>	<b>乗り物等の軽い振動による影響はありません。</b> ・オートバイなどで強い振動が加えられた場合に、一時的に遅れる事があります。
<b>温度</b>	<b>40℃をこえる場所での精度は保証できません。</b> ・直射日光が長時間あたる所、高温になる所に置かないでください。 <b>10℃に満たない場所での精度は保証できません。</b> ・寒い所に長時間置かないでください。 ※温度の影響で多少の進み遅れが生じる事がありますが、常温に戻れば元の精度に戻ります。

## その他

### 警告

ご使用状況により、メッキパーツ、プリント塗装部分は摩擦により磨耗・経年劣化をいたします。ご了承ください。

### 警告

- バンドの脱着の際にバックルなどで爪をキズつけるおそれがありますのでご注意ください。
- 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う可能性がありますので、充分にご注意ください。
- 特に乳幼児を抱いたりする時には、時計に触れる事で思わぬケガを負ったりアレルギーによるカブレをおこしたりする場合がありますので充分にご注意ください。

### 色落ちや色移り

- 皮革・軟質プラスチックのカラーバンドは、変色・色落ち・色移りする場合がありますのでご注意ください。
- カラーバンドを水に濡れたまま、または湿った状態で使用すると色落ち・色移りの原因となり、衣服を汚すおそれがありますのでご注意ください。

### かぶれやアレルギー

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の方は、体調により皮膚にかゆみやかぶれをきたす事があります。
- かぶれの原因としては、金属・皮革に対するアレルギー、時計本体やバンドに発生した、サビ・汚れ・付着した汗などが考えられますのでご注意ください。
- 万一肌などに異常が生じた場合は直ちに使用を中止して、医師にご相談ください。

## ケースやバンドのお手入れ

○ ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌へ接しています。汚れたままにしておくと、衣服を汚したり、肌の弱い方はかぶれたりする事があります。汚れや水分はそのままにせず、柔らかい吸湿性の良い布でふき取り、常に清潔にしてお使いください。また、汗をかきやすい季節等には、バンドを少しゆるめにして通気性を上げるなどして、お使いください。

## 軟質プラスチックバンド

- ご使用状況・環境により異なりますが、ベルトの耐用期間は約1年です。
- 化学製品などで、溶剤等によって変質する事があります。
- ウレタンバンド等、軟質プラスチック製のバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどくなると衣服を汚したり皮膚に障害を起こす場合もありますので、時々石鹸水で洗ってください。非防水時計は時計本体に水がかからないよう慎重に扱ってください。

## メッキパーツ

金属バンドやその他金属・プラスチック部分には、メッキを施した製品があります。使用後に手入れをせずに使い続けると、メッキの腐食やハガシの原因となり、衣服を汚したり皮膚がかぶれたりする可能性もあります。特に夏場などの汗をかきやすい季節には、こまめなお手入れを心掛けてください。

## こんな時は

- **本製品を海外でご使用する場合**  
海外では、電波時計として使用はできません。通常の時計としての使用は可能です。
- **ボタン操作時の音を消したい**  
本製品は、ボタン操作音のON/OFFを切り替える事ができません。
- **アラーム・時報を鳴ららないようにしたい**  
アラームと時報はON/OFFの設定ができます。詳しくは「[アラーム・時報のON/OFF設定](#)」をご覧ください。
- **12/24時間表示を切り替えたい**  
表示を切り替える事ができます。詳しくは「[時刻/日付の合わせ方【手動】](#)」をご覧ください。

## ソーラーパワーについて

- ソーラーセルが搭載された製品は、日光や照明の光などのソーラーパワーを電気エネルギーに変えて駆動します。このエネルギーを蓄電することはできません。光が無いところでは、リチウムバッテリーで駆動します。
- ソーラーパワーの駆動により、リチウムバッテリーの消費を抑えることができます。

※ディスプレイやバックライトが、薄くなったり暗くなった場合は、リチウムバッテリーの交換時期です。リチウムバッテリーが完全に無くなると、日光に当てても駆動しません。お早めの店頭での電池交換（有償）をお勧めします。



※イラストはイメージです

## 電波時計について

### 電波時計

本製品は日本の標準時刻電波を受信して、自動で時刻を修正します。  
※標準時刻電波は独立行政法人・情報通信研究機構（NICT）の標準電波送信所より送信されています。標準時刻電波は、24時間送信されておりますが、保守作業などの為一時的に送信が止まる場合があります。  
※一度受信を行ってから次に電波を受信するまでは、内蔵されたクォーツの精度により作動します。常に正しい時刻を表示させるためには毎日の確実な受信を心掛けてください。

### 受信範囲

本製品の受信可能範囲は、標準時刻電波送信所より半径約1,000kmですが、標準時刻電波が届く範囲は、時間帯・季節・気候・地形など様々な条件により変化する場合があります。そのため、受信可能範囲内であっても受信ができない事があります。  
※本製品は、福島局（40kHz）または佐賀局（60kHz）の電波を自動で選局して受信する両局対応モデルです。日本国外の標準時刻電波を受信することはできません。

標準電波は、ほぼ24時間続けて送信されておりますが、保守作業や落雷・積雪対策等で一時中断されることもあります。詳しくは下記ホームページをご覧ください。  
<http://jijy.nict.go.jp>「日本標準時グループ」ホームページは予告なくページ内容を変更する場合があります。

### 受信時の注意

- 電波発信塔の方向にある窓際（受信範囲図参照）  
近くにビルや高圧線・鉄骨・鉄筋コンクリートの建物が無い窓際
- 家電製品（照明器具、パソコン及びモニター・エアコン・冷蔵庫・電子レンジなど）から離れた場所

### 受信が難しい場所

- 車、電車、飛行機などの乗り物の中
- 山間部で電波が山等に遮断される場合 ※高圧線・変電施設等が近くにある。
- ビルによる電波の遮断 ※工場等の高出力電力等を発生する施設が近くにある。
- 鉄筋コンクリート素材のマンションで中央部のお部屋
- 電化製品に近い場所での設置（照明器具・パソコン及びモニター・エアコン・冷蔵庫など）
- 使用中の携帯電話の近く
- 極度の高温または低温の状況下
- 設置場所から送信所方向に電波の妨げになる障害物がある場合
- 悪天候時（雪・台風・雷など）
- ケース・引き出しなどの中。

### 安定した受信のために

電波受信中は、安定した強い電波を受信できる場所・時計の向きを見つけておいて、おやすみ前にその場所に時計を置くようにすると安定した受信をすることができます。また、受信中の時計は動かさないようにしてボタン操作などは行なわないでください。

### 電波の受信について

- 電波受信し、時刻修正を行なった直後でも、1秒未満の誤差を生じる場合があります。
- 受信中の時計は動かさないでください。
- 受信が終了するまでに約2～10分かかります。
- 受信中はボタン操作をしないでください。
- 受信が正常に終了しているのに正しい時刻が表示されない場合は、受信中にノイズ等の影響により正しく設定されていない事が考えられますので、場所を変えて再度受信を行なってください。
- 受信機能を多用すると電池を消耗し、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

- 液晶表示が薄くなった/ELライトが暗い  
ELライトを点けると画面が見えなくなる

ELライト使用時は数字の濃度が多少薄くなります。極端に見えづらい、ライト自体が暗い、リセットしてしまうという場合は、電池容量が少なくなっていると思われる。電池交換をご依頼ください。（有償）

### ■時刻の表示がおかしい

・第2時刻が表示されていませんか？  
通常時刻と見分けるには画面上部のモード表示を確認してください。その部分に「T2」と表示されているときは、第2時刻が表示されています。画面を切り替えて通常時刻にしてください。

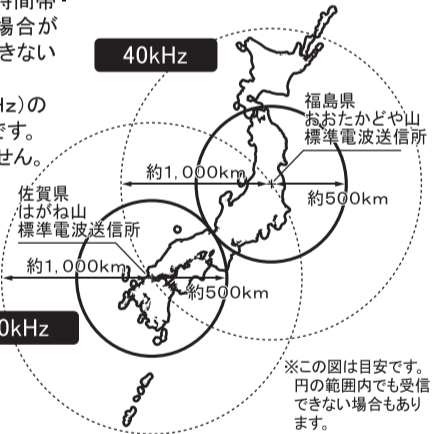
## アフターサービスについて

- 保証期間中のアフターサービスについては、保証規定をご確認の上、お買上げ店にご相談ください。保証期間経過後の修理については、お買上げ店またはお近くの取扱店にご相談ください。保証期間中は原則的に修理が可能です。但し、保有パーツの在庫が無くなった場合など、修理をお断りさせて頂くこともございますのでご了承願います。
- 修理の時、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させて頂いたたく事もありますがご了承ください。
- 実際に修理が可能かどうかはご使用の状態により異なります。時計精度などは元通りにならない場合もあります。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他に修理費用をお客様にてご負担願います。修理内容によっては修理代が標準小売価格を上回る事もございますので、修理依頼の際は取扱店様とよくご相談の上ご依頼ください。

## 製造元 株式会社クレファ

### 株式会社クレファアフターサービス

〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1  
TEL:042-703-1785 FAX:042-700-1106  
(土休日を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)

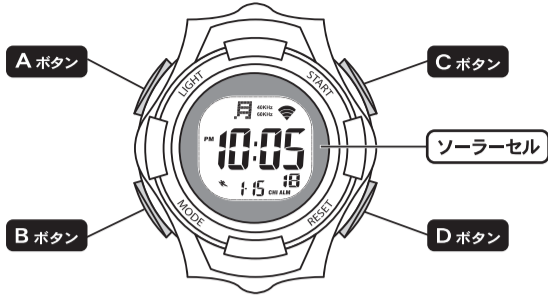


※この図は目安です。円の範囲内でも受信できない場合もあります。

本書は共通取扱説明書です。全ての図は説明用で、実際の状態を表したものではありません。デザインや数字の表示スタイルなどが実際の製品とは異なりますので、あらかじめご了承ください。

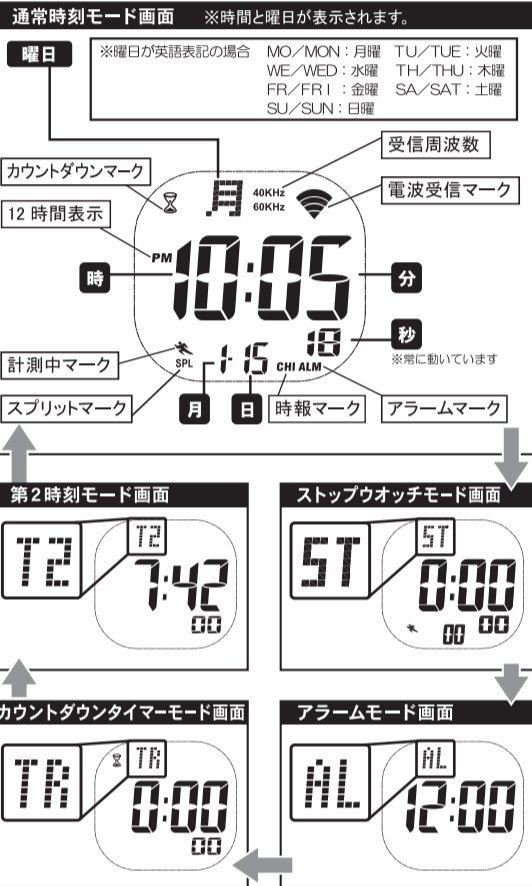
## 各ボタンについて

本説明書中に出てくる各ボタンは、下図を参照してください。



## 各モード画面

この時計はBボタンの操作でモード表示が切り替わります。見分けるには画面上部を見てください。図の順番で各モード画面へ切り替わります。



## 電波受信による時刻設定

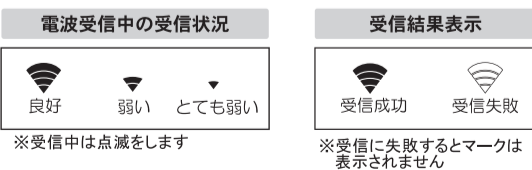
### ●自動受信について

自動受信による時刻合わせは、毎日午前0時、午前4時、午後6時頃に行なわれるように設定されています。電波受信マークが点滅を始め、40KHzの電波信号を探します。約5分間受信できない場合は、次に60KHzの電波信号を探します。(逆の場合も同一で受信します。)一度受信に成功すると、電波受信マークが表示され、その日はそれ以上の自動受信をしません。自動受信に失敗すると、次の自動受信は翌日の午前0時、午前4時、午後6時頃になります。自動受信による時刻合わせから次の自動受信までは、内臓クォーツの精度で作動します。  
※自動受信機能はON/OFF設定の切り替えはできません。

### ●手動受信について

自動受信以外に、手動で電波受信をして時刻を合わせる時に使用します。受信中は電波の良い場所で受信を行なってください。

- ① 「通常時刻モード画面」で [C] ボタンを長押しすると、手動受信による時刻合わせが始まります。
- ② 電波受信マークが点滅を始め、40KHzの電波信号を探します。約5分間受信できない場合は、次に60KHzの電波信号を探します。受信が成功すると電波受信マークが表示されます。受信を途中で止めたい場合は、Cボタンを押します。



## リセット機能について

A～Dのすべてのボタンを同時に押し、画面が全表示した後にボタンを離すと、リセットされます。

※この操作は取扱説明書通りに操作が出来なくなった時のみお試しください。



## 時刻/日付の合わせ方【手動】

電波受信が困難な場合、手動で時刻/日付を合わせることができます。天候の状況により受信ができない時や、地下などの電波が届かない場所で時刻を合わせる時にご使用ください。

- ① 「通常時刻モード画面」で [D] ボタンを長押しして、「12/24時間表示」を点滅させます。
- ② [C] ボタンで表示の切替え、数値の設定をしてください。
- ③ [B] ボタンを押すごとに設定箇所の点滅が下記の順に切り替わります。設定箇所を選び、[C] ボタンで数値などの設定をします。※秒は、00秒以外は設定できません。

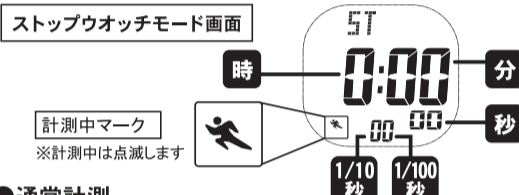


- ④ 設定終了後は、[D] ボタンを押して設定終了します。

- 数値の設定中にCボタンを長押しすると秒以外の数値は早送りできます。
- どの段階でもDボタンを1回押しすと設定が終了して通常時刻に戻ります。
- 実際には設定中も時刻は進んでいきます。
- 年・月・日が正しければ、曜日は自動で表示されます。
- しばらく操作しないと設定状態が解除されます。その場合はもう一度最初からやり直してください。

## ストップウォッチの使い方

ストップウォッチ機能は、通常計測とスプリットタイム計測が可能です。最大計測時間を経過すると、表示が00時00分00秒00になり、カウントを続けます。



### ●通常計測

- ① 「通常時刻モード画面」で [B] ボタンを1回押しして、ストップウォッチモードを表示させます。→ 「ST」が表示されます
- ② [C] ボタンを押して、カウントをスタートします。
- ③ [C] ボタンを押すと、計測がストップします。
- ④ [D] ボタンを押して、計測時間をリセットします。

### ●スプリットタイム計測

スタートからゴールまでの計測をしながら途中経過の記録を確認できる計測です

- ① 「通常時刻モード画面」で [B] ボタンを1回押しして、ストップウォッチモードを表示させます。→ 「ST」が表示されます
- ② [C] ボタンを押して、カウントをスタートします。
- ③ [D] ボタンを押して、画面を一時停止します。(計測は継続中) → 計測中マークの下にスプリットマークが表示されます

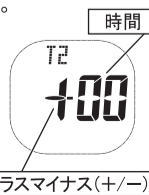


- ④ [D] ボタンを押すと、画面が動きます。(計測画面の停止/再開は何回でも可能) → スプリットマークが消えます
- ⑤ [C] ボタンを押すと、計測がストップします。
- ⑥ [D] ボタンを押して、計測時間をリセットします。

## 第2時刻について

・通常時刻とは別に、もう一つの時刻を表示する事ができます。海外旅行などの使用に便利です。  
・ロンドンのグリニッジ標準時(GMT)を基準とし、海外等の時差のある場所の時刻を設定することができます。右記のGMTタイムゾーン一覧表を参考にして時差を設定してください。  
・秒/分は通常時刻のものが表示されます。第2時刻では時差の設定のみ可能で、秒/分の設定はできません。  
・第2時刻は特に設定しなくても時計の使用には支障ありません。必要な場合のみ設定しておいてください。

- ① 「通常時刻モード画面」で [B] ボタンを4回押しして、第2時刻モードを表示させます。→ 「T2」が表示されます
- ② [D] ボタンを長押しして、「+/-」を点滅させます。
- ③ [C] ボタンを押して、「+/-」を選択します。
- ④ [B] ボタンを押して数字を点滅させます。
- ⑤ [C] ボタンで数値を設定します。
- ⑥ [D] ボタンを押して設定終了します。



■数値の設定中にCボタンを長押しすると数値は早送りできます。

## アラーム設定

設定した時刻に毎日アラームが鳴らすことができます。

- ① 「通常時刻モード画面」で [B] ボタンを2回押しして、アラームモードを表示させます。→ 「AL」が表示されます
- ② [D] ボタンを長押しして「時」を点滅させます。
- ③ [C] ボタンで数値の設定をします。[B] ボタンを押すごとに設定箇所の点滅が切り替わります。
- ④ [D] ボタンを押して設定終了します。

■数値の設定中にCボタンを長押しすると数値は早送りできます。

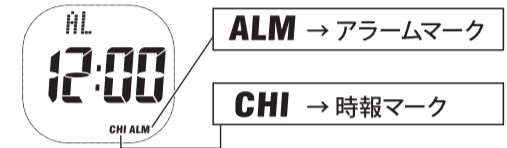
## アラーム音の止め方

アラーム音はB～Dいずれかのボタンを押すと止まりますが、放置しても約30秒後に自動的に止まります。アラーム・時報は毎日鳴ります。鳴らせたくないときはOFFにしてください。

## アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモード画面でCボタンを押すとON/OFF設定の切り替えができます。アラーム・時報マークが無い状態はアラーム・時報が鳴りません。アラーム・時報は毎日鳴ります。鳴らせたくないときはOFFにしてください。

アラームモード画面



## カウントダウンタイマーについて

カウントダウンが0になるとピープ音が鳴ります。約30秒間鳴り続けますが、B～Dいずれかのボタンを押しても止める事ができます。

### ●時間の設定

- ① 「通常時刻モード画面」で [B] ボタンを3回押しして、カウントダウンモードを表示させます。→ 「TR」が表示されます
- ② [D] ボタンを長押しして、「時」を点滅させます。
- ③ [C] ボタンを押して、「時」の数値を設定します。
- ④ [B] ボタンを押して、「分」を点滅させます。
- ⑤ [C] ボタンを押して、「分」の数値を設定します。
- ⑥ [D] ボタンを押して設定終了します。

### ●使用方法

時間の設定を行なったら、[C] ボタンでカウントダウンをスタートします。→ カウントダウンマークが点滅します [C] ボタンで一時的に停止できます。一時停止を解除するにはもう一度 [C] ボタンを押してください。

- 数値の設定中にCボタンを長押しすると数値は早送りできます。
- カウントアップ機能はありません。
- 最大設定時間は23時間59分です。
- カウントダウンの最中にBボタンを押すと通常時刻モードになりますが、カウントダウンは継続しています。

## ELライト

Aボタンを一回押しすると、ELライトが点灯し、数秒後に自動的に消灯します。

- ・Aボタンを押したときに操作音はしません。
- ・ELライトを多用すると電池寿命が短くなります。
- ・ELライトは電池の電圧が低くなると明るさが低下します。また、点灯時間の累積で徐々に明るさが弱くなる特性を持っています。

## <GMTタイムゾーン一覧表>

GMTとの時差	GMTとの時差
+12h	ニュージーランド
+10h	シドニー、ブリスベン、キャンベラ、メルボルン
+9h30m	ダーウィン、アデレード
+9h	日本、韓国
+8h	マレーシア、シンガポール、中国、フィリピン、パース
+7h	タイ、ベトナム
+5h30m	インド
+3h	モスクワ
+2h	東ヨーロッパ地域標準時
+1h	中央ヨーロッパ地域標準時
±0	グリニッジ標準時、西ヨーロッパ地域標準時
-3h	アルゼンチン
-4h	ヴェネズエラ、チリ
-5h	アメリカ東海岸標準時
-6h	アメリカ中央海岸標準時
-7h	アメリカ山岳部標準時
-8h	アメリカ西海岸標準時
-9h	アラスカ
-10h	ハワイ

- GMTとは Greenwich Mean Time の略で、グリニッジ標準時です。
- 一覧表の時差はGMTとの時差で、時計の通常時刻との時差ではありません。